

讀者之声 ☆ 其之參

—先月号にのせた投書に対して今度は何
 返か反論が寄せられたのでそのなかから—
 ◆「千成ホテル大火」に努力して金ができ
 のその後」に紹介し るし、立派と認めら
 れた「人間はそれなり れる」との意見に、

金持が立派との意見に疑問

無記名投書者— 見方をしているとし
 言。今回初めて読ま 考えられぬ。通
 せて頂きました。 手ヤンナル、必ずし
 貴君の意見は同書出 もいはいえぬい
 来ません。人間金さ

えあれば立派でしょ
 うか？ 金持が立派
 で貧乏人がバカとは
 余りにも人間性を無
 視した工場的な物の

◆「われらドスネズ
 ミ？」という記事の
 ほかの「立小便する

五月号の三八頁の
 記事について一言へ

が、我々労働者にと
 つては、ささやかな
 楽しみでもある。う。
 他人に対する思い
 やり、生活様式を理
 解してほしいものだ
 ……

S・K(三九才、
 ドヤN、工場兼
 役、現金、白手
 帳はもつていな
 い)

な「ゴミを散らす
 なし」という意見に
 対しては—
 ある投書をキツカケ
 ……。どうも記事

他の地方から来た
 人は当地の人に遠慮
 すべさで有ると云う
 所、その当地の人と
 自負している人達、
 もしくはその祖先も
 つて大御方はよその
 土地の人で有つた事
 と想う、果してその
 人達は原任の人にと
 れ程遠慮したであろう
 か？ 他の人を押し
 つ返し踏みつけて成

リ上がったのではな
 いでしょうか？ そん
 な事は絶対にないと
 誰が断言出来ようぞ。
立小便のことで有
 るが、梅田新道や難
 波、道頓堀、等へ行
 つて見ると英国製の
 極上の青広にネクタ
 イ石で立派なオヒケ
 又はヤシの紳士らし
 き人が、上からグー
 ザー、下からシヤア
 シヤア、アングの立
 小便なんて可愛い位
 位のもんぢね。—

三角公園の占領が
 んて云いますが、あ
 ることを道路であ
 るの故の人員がワイワ

イヤッていたら、飛
 リサンが大騒ぎ「邪
 魔になる、交通妨害
 だ。三角公園へ行け
 ーとドナルドと森実
 です。ギャンナル云
 マですが、そのギマ
 ンナルを許可してい
 る政府に文句を云つ
 たらどうですか？
 葉っぱをむしるより
 幹を倒した方が早手
 遅しと聞きますが
 ね。

ゴミの件になると

公園の近所の商人が
 露天商、「ノミヤ」の理
 中坊、ワサワサ営業
 用のゴミが客路に入

ズラズラしない事

り切れなくなるので
 三角公園に御持参と
 云う訳です。悪い事
 はみんなアングにか
 ぶせて知らん顔です。
 「こりや聞こえませ
 ぬ佐兵衛さん」で
 しょうよ。

日中、酒を呑まな

いこととなつたら早
 れかえる許りお。代
 議士さんが日中から
 オメカケさんと奥座
 敷でハナの下をの味
 してにハマクラで酒
 飲んでいる事は一体
 どうなるんでしょう
 かね。

仕事服は仕事で

けー厄敵もほどほ
 どにして下さいよ。
 作業服は我ら行務者
 の様子から推して佳
 け崎近辺の商店主も
 しくは任人らしい體
 じであるが、その飛
 言たるや雪上人の願
 な架空な夢のたかこ
 ととしか思えない。

まっこんな事を

投書した人の名前は
 二宮金五郎さんで、

金文郎さんより三段
幅も広い回しけりけり
り亡者だと用う。
社会の規則も大切
す。然し礼儀と云
う前に誠に恐れ入リ
ますが衣食の方も知

オカマの記事は?

四月特列号をばじ
めて読み大変引かれ
ました。内容的にも
勿論です。百円と云
うことにも、小生も
若い頃同人派の狂歌
もありましたが、正心
ん持出し許りの会計
状態はとうと編集者
の御苦勞が判ります。
笑は小生「カマキ

願っていたいものです、
それこそセンエツ
作らこの夜書者に一
言——

—S.S.(五ニオ、
ドマン、エ方、
白手懐持ち)

—の花形が好きなで、
その残影というか、
あこがれて女になか
つて人の習が「オカ
マ」の女装に突見し

—以来、時々金ウ崎
付近をささる歩きそ
の君にふれる事に乗
しみを覚えており、
そのフレブルに本誌
が目につき入手しま
し。真面目な「渡世
の記事には好ましく
ないかも知れませんが、
その人々の街の
中で道端に居たすみ
容を求め、オカマを
記事にすることも無
意味ではない。

—無記名、四四才
その後の俺——四
月は中働金もなくな
ったので手取師に
のんで岡山の仕事に
行つたよ、飯めまの
三五〇〇円(一五五)
安いけどしゃあない。
水島(言敷)の島石
造だよ、例の石油を
流した会社のバルト
がめだよ、四月三〇
日の日に金入解つて
来たよ、今この文を
書いている時はもう
金がないうよ、明日か
ら又仕事だ!! (拜金
三五〇円)

「の雑誌をずっと続けて」

今月号に俺のこと
が出ていた。丁です。
うれしかつたよ、初

めてせよな本に俺の
ことが出るのは、并
稀者渡世を全国の々

—T.O.(土方、
契約、白手懐も
つてたけ今ない)

感想

前略

先月号と今月号

区替けて読みました。
西成に住みついてま
せ三年余りですが、
この雑誌に目を通し
てから俺の知らない
過去の歴史などを知
る事が出来非常に勉
強になりました。そ
れと同時にこれを読
んでる多くの仲間と
の間接的な道徳意識
さえ生まれました。
生きていく上にはや

はりつらい事や悲し
い事に出逢いますか、

すであるう——

いろいろな出来事が
ありました。飯場で

かならずわあかな喜
びがあるはずですよ。
そのわあかな喜びの
ために今日も生き残
ける我々仲間達——

—太宰の出ない雨
降らないように我々
にもいつの日かかな
らず俺達中心の社会
はくる事を信じてつ

ありました。飯場で
働いて金をもらえな
かつたり、手取師や
やくざになぐられた
り、思い出の多くは
悲しみや苦しみの確
な思い出ばかりです

つらい事の理屈でド
ヤの片すみでおもわ
ず涙するこのやりか
れない気持ち——我々

—M.K.(二五才
トヤH、土工難
役、白手懐持、
アヌレ資格有)

明日の仕事のため床
につく、明日に向か
つてがんばらう。

の流した涙はいつの
日かま、と凶器と化

—今では登や山谷な
とを渡り歩いて早や
七年の月日が過ぎ去
つて行きましたよ、

いろいろな出来事が
ありました。飯場で
働いて金をもらえな
かつたり、手取師や
やくざになぐられた
り、思い出の多くは
悲しみや苦しみの確
な思い出ばかりです

悲しみを苦しみの思いはから

小生この新着者達

す。

世を初めて読んで大
変気に入りました。こ
ちまちフアンの一人
となりましたアオで

—今では登や山谷な
とを渡り歩いて早や
七年の月日が過ぎ去
つて行きましたよ、

いろいろな出来事が
ありました。飯場で
働いて金をもらえな
かつたり、手取師や
やくざになぐられた
り、思い出の多くは
悲しみや苦しみの確
な思い出ばかりです

えられ、私自身も変
わってきたのです。
またい中希者も多
いですが、私のよう
に影ながらあなた方
の前進を祈っている
人間もいることを忘
れないでほしい。い

つかまつと役に立て
る日が来ると信じて
いる。ふんはれ兄弟、
— W・Y・(三六才、
世や不定、土方
工場なんでも、
白手所持、アス
レ資格なし)

してニンゲンがとめ
に入つたと云う笑い
話はよく聞くのだら
い。
— N・H・(四七才、
J館、土方ほか
なんでも、白手
所持資格なし)

読者八ガキ欄に共感

読者からの八ガキ
欄が共感を感じる。
「複の合」が解散し
たのはどう云う事情
が知らないが、一つ
の文化的な灯が消え
たと云うことなのか。
中希者連世が唯一
の金での総合雑誌め
な面白い企画であれ

は、レニをむ以外の
意見もどんどん出て
来ても面白いのでは
なからうか。詩歌—
—何も作れないが、
アンコの生活自体が

さ多分想像にみえる
ヒマがないのだ。ア
ンコとトビがケンカ

酔い痴れて道に寝る人わめく人
金ケ崎こそわがふるさとのまち

働けと働けとばはわがくらし
ドウデモイイヤと正月は近づく

前回は神聖なりと誰が云う

アスレし朝のアンコみもじき

知らぬ人 酒あさりてくれぬ 金ケ崎

握手して別れ いまだに会えず

働けと働けとばはわがくらし

ドウデモイイヤと正月は近づく

働けと働けとばはわがくらし

ドウデモイイヤと正月は近づく

— H・N .

伝言板

投稿いただいた
岡田さん、次号
にぜひのせたい
が、その前に会
いたし。乞連絡。

投稿のしめ切りは今月から毎月25日。内容・長さは自由です。